

- 問1 北海道地方と九州地方の工業出荷額の内訳を比較した際、北海道では製造品出荷額のうち食品工業が占める割合が最も高いのに対し、九州地方では自動車などの機械工業の割合が高いという特徴が見られます。北海道において、特に食品工業の割合が高くなっている理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 豊富な森林資源を背景として、住宅用の木材や製紙・パルプの製造が製造品出荷額の半分以上を占めているため | 2. 海外から輸入した石油などの原料を加工する臨海型の工業地帯が全国的に見て集中しているため | 3. 広大な土地を活用して生産される農産物を原料として、現地で加工を行う工場が多いため | 4. 最先端の技術を必要とする集積回路 (IC) の工場が、空港や高速道路周辺に数多く建設されたため |
|---|--|---|--|
- 問2 地形図における縮尺の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれか。なお、札幌市の北海道大学植物園から南東方向に位置する市役所 (地点B) までの実際の距離を1km (1000m) とした場合を想定して答えなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは2cmになる。 | 2. 5万分の1の地形図では、図上の長さは5cmになる。 | 3. 5万分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。 | 4. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。 |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
- 問3 北海道の旭川市など、内陸部の都市の開発に関連した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|---|--|
| 1. 戦後の高度経済成長期に、石炭採掘の拠点としてゼロから建設された | 2. アイヌの人々が古くから築いていた大規模な城郭都市を、明治政府が接収して発展させた | 3. 江戸時代に松前藩が交易の拠点として整備し、本州からの商人が集まって形成された | 4. 明治時代以降、屯田兵が配置され、北方警備と並行して農地の開拓が行われた |
|------------------------------------|---|---|--|
- 問4 明治政府が北海道の組織的な開発を進めるために「開拓使」という機関を設置した際、農業に従事して土地を切り拓きながら、同時に北方の警備という軍事的な役割も兼ねて配置された人々を何と呼びますか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|--------|
| 1. 御家人 | 2. 地頭 | 3. 防人 | 4. 屯田兵 |
|--------|-------|-------|--------|
- 問5 北海道の知床半島を含む東部地域では、夏季に「濃霧」が発生し、視界が悪くなったり気温が上がりにくくなったりすることがあります。この霧が発生する仕組みについて、海面を流れる潮の流れ (海流) と季節風の関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 太平洋から吹き込む乾いた季節風が、暖流である黒潮 (日本海流) によって温められることで発生する。 | 2. 日本海から吹き込む湿った季節風が、暖流である対馬海流によって冷やされることで発生する。 | 3. 太平洋から吹き込む湿った季節風が、寒流である親潮 (千島海流) によって冷やされることで発生する。 | 4. オホーツク海から吹き込む冷たい風が、陸地の熱によって上昇気流となり、雲を作ることで発生する。 |
|--|--|--|---|
- 問6 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 択捉島 | 2. 歯舞群島 | 3. 国後島 | 4. 色丹島 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問7 北海道北部の利尻島・礼文島において、地域の産業を持続させるために行われている取り組みの背景と内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 高齢化による労働力不足を補うため、昆布養殖や漁業の技術を伝える後継者の育成・支援が行われている。 | 2. 観光客の減少を食い止めるため、閉山した金山の坑道を再活用したテーマパークの建設が進んでいる。 | 3. 昆布の需要減少に対応するため、漁場をすべてレタスなどの大規模な野菜工場に転換する計画が進んでいる。 | 4. 土壌の性質を改善することで、生産額が減少したサトウキビに代わる新たな特産品の開発が進んでいる。 |
|---|---|--|--|
- 問8 人口約526万人を抱える北海道では、道庁所在地の人口が約197万人に達するなど都市部への人口集中が見られる一方で、広大な土地や気候特性を活かした新たな産業の立地が進んでいます。近年、北海道において企業の膨大な情報を管理するデータセンターの集積が進んでいる理由として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. シラスと呼ばれる厚い火山灰層に覆われた台地が広がっており、大規模な施設の建設に必要な強固な土台が得やすいため | 2. 年間を通じて気温が低くサーバーの冷却コストを抑えられる点や、地震等の影響を受けにくい安定した地盤があるため | 3. 梅雨の影響を受けず夏が乾燥しており、広大な丘陵地帯を太陽光発電の適地として活用しやすいため | 4. 周辺を流れる対馬海流の影響で冬も温暖であり、精密機器の故障の原因となる結露を防ぐのに適しているため |
|---|--|--|--|
- 問9 北海道では、小麦や小豆などの畑作物の生産割合が全国の過半数を超える圧倒的なシェアを占めています。このような高い生産力を支えている北海道の農業の特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 夏でも温暖な気候を利用して、同じ土地で年に2回作物を作る二期作が行われている点 | 2. 山がちな地形を活かした段々畑が整備され、果樹栽培と稲作を組み合わせた複合経営が行われている点 | 3. 消費地に近い利点を活かし、ピニールハウスなどの施設を用いて出荷時期を早める促成栽培が行われている点 | 4. 1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を活用した大規模農業が行われている点 |
|--|---|--|--|
- 問10 北海道の北部に位置しながら、上川盆地で稲作が盛んに行われている理由について、この地域の気候の特性から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 季節風の影響で年中雨が多く、灌漑施設に頼らずに水田に水を引くことができるため | 2. 標高が高いため、夏でも涼しく害虫の被害を受けにくいという気候特性を持っているため | 3. 一年を通じて暖流の影響を強く受けるため、冬でも雪が降らず温暖な気候が続くため | 4. 内陸のため夏は比較的気温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため |
|---|---|---|--|
- 問11 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 客土 | 2. 輪作 | 3. 開拓 | 4. 干拓 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問12 北海道に古くから居住し、自然を敬う独自の文化や独自の言語を持っている先住民族を何と呼びますか。最も適切な名称を選択してください。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. ラテン民族 | 2. モンゴル民族 | 3. アイヌ民族 | 4. スラブ民族 |
|----------|-----------|----------|----------|